

学術事業報告

学発番号：第13-021 号

研修会 臨床化学免疫血清分野 研修会

日 時： 2013年6月25日(火) 18:30～20:30

場 所： 京都保健衛生専門学校 視聴覚室

主 題1： 「日本電子自動分析装置の異常反応データの実例と対処法について」

講 師1： 古後 富久 氏（日本電子株式会社 医用機器本部）

主 題2： 「ベックマン・コールターに問合せがあったトラブル事例と対策」

講 師2： 森 和雄 氏（ベックマン・コールター株式会社）

参加数： 総人数19人(正会員11人)

報告者： 後藤 直樹（京都保健衛生専門学校）

以下、講演内容など

今回の研修会は「自動分析装置の異常検出機能と対処事例」というテーマで自動分析装置メーカー2社に来ていただき、臨床で起こりえる、または実際に起った事例について講演していただきました。自動分析装置での測定自体は簡単になっている。メーカーとしても、過去の報告より改良をすすめ、異常値の検出機能も増えて臨床で、より使いやすい仕様となっている。しかし、全ての異常を検出したり、対処できるものではない。今回の2社の講演では、自動分析装置の基本的な仕組み、具体的な事例を踏まえて講演していただきました。分析装置の機能に頼りつつ、やはり異常値が出た場合の対処には臨床検査技師の判断力というのが必要であると改めて感じました。メーカーに頼りすぎず、臨床検査技師の知識向上に努めなければならないと感じる講演でした。